

東日本大震災の被災者支援活動に取り組む県内16団体に助成

東日本大震災で被災された方々は、現在もなお不自由な生活を余儀なくされています。

県内においても被災地へのボランティア派遣や被災地から県内に避難されている方々に対して、多くの団体、組織によってさまざまな形で幅広い支援活動が続けられています。

新潟県医師会では、これらの活動の一助となるよう被災者支援活動を新潟県内の団体に対して助成することとして、本会ホームページや新聞広告により募集したところ、16団体から応募がありました。

それぞれの団体の活動は多岐にわたりますが、いずれも真摯に支援活動を続けられており、16団体すべてに助成することとして、平成23年11月24日(木)午後2時から当会館に各団体からお集まりいただき、贈呈式を行いました。

渡部会長は、自らも被災地へ出向いて実際の惨状を目の当たりにしたことにも触れ、被災者支援は長い時間をかけ幅広い分野で必要であり、各団体におかれては一層の活躍に期待をしたい旨の挨拶を行った後、各団体に助成金を贈呈いたしました。



贈呈式記念撮影

16団体への助成金総額 13,790,700円(1団体あたり上限100万円)

東日本大震災における被災者支援活動に対する助成金贈呈団体一覧

	名 称	実 績	今後の活動
1	特定非営利活動法人 おぢや元気プロジェクト	被災地での生活支援、現地でサポートセンターの設置	旧山古志村、川口地域への復興視察ツアーで、被災者の気持ちの底上げを図る
2	特定非営利活動法人 風小僧	地元旅館から提供された寝具 180 組の提供など	現地へボランティア派遣ほか
3	特定非営利活動法人 新潟県災害救援機構	DMA Tに参加、5月末までに 22 回の活動で会員 150 名が支援活動に従事	医療救護用品の購入
4	新潟震災ボランティア会議	支援物資の無償配布 チャリティコンサートの売り上げを寄付	被災遺児のための支援 チャリティコンサートの継続
5	バックアップセンター ジャパン	支援物資の搬送 子供向けアトラクション、炊き出しやチャリティイベントなど	家族写真のアルバムプロジェクト
6	敬和学園高等学校	7 回のボランティア活動、生徒 95 名、教師 41 名が参加	ボランティア費用借り受け分の補填と、ボランティア活動の継続
7	新潟医療福祉大学 社会福祉学部	県内及び被災地の避難所で支援活動、述べ 155 名が従事	支援活動の継続
8	ココポラ	現地にバスを派遣 計 11 回、延べ 16 台、640 名	暖房機の購入、新潟市民向けポータルサイトの運営
9	新潟教区ボランティア・ネットワーク	物資支援、被災地でのボランティア活動、チャリティコンサートの開催	県内、被災地での心のケア対策スキー旅行等を企画
10	未来予想図実行委員会	被災地でのボランティア活動	被災地でのイベント活動（芋煮会、キャンドル作り、クリスマス会等）
11	新潟大学考古学研究室・ 新潟大学旭町学術資料展示館友の会	震災前の被災地を描いた絵葉書の展示会を新大駅南キャンパスで開催	被災埋蔵文化財の修復、保存のための調査 被災地で海拔表示のサイン設置
12	特定非営利活動法人 住民安全ネットワーク ジャパン	長岡市に避難されている方向けのメール情報配信	避難者向けの情報誌の発行 足湯、芋煮会等のイベントの開催
13	日本基督教団関東教区 新潟地区	現地での支援活動 新潟教会に全国からの支援物資を集積し、マイカーでピストン輸送	現地での支援活動を継続 (ボランティア派遣、イベントの企画)
14	新潟青陵学園	現地で学生及び教職員によるボランティア活動、2泊3日で計8回223名(全10回予定)	ボランティア活動の継続
15	新潟よろず医療会	救援物資の搬送、現地での炊き出し、医療支援・相談	支援活動の継続
16	復興義援金 キャンドルプロジェクト	キャンドルを作成してその売り上げを寄付	支援活動の継続